

エッセイ

エジプトの夜行列車: 新型車両 Talgo に乗ってアスワンへ

坂本麻紀

(国立スポーツ科学センター 司書)

はじめに

鉄道好きの方はもちろん、そうでない方でも、エジプトで鉄道に乗ってみたいと思っている人は多いかもしれません。私は先月（2023年9月）、カイロからアスワンへ移動するため、エジプトの夜行列車に乗ってきました。エジプト国有鉄道（ENR: Egypt National Railways）は、8月下旬に ENR のウェブサイトから切符の予約・購入ができるようになったのですが¹、対象はエジプトの国籍を持つ人のみとなっています。英語のウェブサイトができているため、そのうち誰でもオンラインで切符の予約・購入ができるようになるのかもしれませんが、今はまだ外国人は駅の窓口で切符を購入するしかなく、一般の人がエジプトの鉄道を利用するのは少々ハードルが高いと感じます。今回は私が列車の切符を買ってアスワンへ行くまでの出来事を書きますので、エジプトで列車に乗ってみたい、と思っている人たちに少しでも情報提供ができればと思います。尚、写真は全て筆者が撮影したものです。

アスワンまでの交通手段

エジプト国内の長距離列車といえば、カイロとルクソール、アスワンを結ぶ寝台列車を思い浮かべる人もいらっしゃるのではないのでしょうか。ナイル・エクスプレスと呼ばれることもある寝台列車は、私も 20 年近く前にルクソールからカイロへ移動する際に利用したことがあります。その当時、すでに車両は古く、共用のトイレ等の施設もあまり良いものではありませんでしたが、友人と個室をシェアしながら楽しく乗った思い出があります。これらの車両はまだ現役で活躍しており、車両はより古く、共用トイレは利用をためらう人も多し、という話を聞きます。ただ、料金はかなり高く、個室を 1 人で占有する場合は 120 ドル、誰かとシェアする場合は 1 人 80 ドル（最近 130 ドルと 90 ドルに値上がりしたようです）と強気です。一応、2 食付きですが、食事に関してもそれほど評判は良くありません（朝食はパンだらけで面白いですが）。1 つだけ良い点を挙げれば、寝台列車は ENR とは別の会社が運営しているため（今年の 8 月に Abela Egypt へ変わったようです）、インターネットで予約が可能ということでしょうか。

12 時間～13 時間くらい掛かる夜行列車ではなく、飛行機で一気にカイロからアスワンへ飛ぶ（フライトは 1 時間半程度）、という手段を取る人のほうが圧倒的に多いのですが、今回、カイロからアスワンへ行くための交通手段を考えた際、夜間に移動できること、ホテル代を節約することができること、ナイル川に沿って列車が進むため朝の景色を楽しむことができること等から夜行列車を選ぶことにしました。

新型車両 Talgo

エジプトの列車についてインターネットで情報収集をしていたところ、今年の 3 月末に

スペイン製の新型車両 Talgo（タルゴ: 図1）が、カイロからアスワンまでのサービスを開始した、という記事を発見しました²。古くて料金が高過ぎると評判の悪い寝台列車にするかどうか決めかねていた私にとって、この新型車両のニュースは朗報でした。すぐに「この新しい列車に乗ってアスワンへ行こう！」と決めたのですが、Talگوの運行スケジュールや、切符購入に関しては、あまり情報がありませんでした³。ENRのウェブサイトでは運行スケジュールは何とか分かりましたが、切符はカイロのラムセス中央駅の外国人専用窓口で事前に行って購入するしかない、ということでした（Bookaway など一部の旅行予約サイトで切符が取れるという話がありますが、所要時間や到着時間などが間違っており、個人的にはちょっと使えないという感じです）。



図1 新型車両の Talgo（アスワンにて）

ラムセス中央駅の外国人専用窓口（Foreigners Reservation Office）

私がアスワンへ出発する日（Talگوに乗る日）は、カイロ到着日の6日後だったため、カイロへ到着したその日にラムセス中央駅へ切符を買いに行くことにしました。カイロ在住10年のSさんが情報収集を兼ねてラムセス中央駅に一緒に行ってくれることになり、Sさんの案内のおかげでスムーズに外国人専用窓口へ行くことができました。ラムセス中央駅へ入る時に手荷物のエクス線検査があることや、駅へ入場する時に入場料が取られること等、知らないことばかりでした。駅の入場料に関しては、「列車の切符を購入しに来た」と係員に伝えれば免除になりますので、外国人専用窓口へ行く際はその旨、伝えたい方が良いでしょう。

ラムセス中央駅の外国人専用窓口は、案内板が出ていません。エスカレーターで2階へ上がった左へ曲がり、突き当りを右へ行った奥にガラス扉の専用の部屋があります。私が行った時には窓口にはヨーロッパ系の外国人が1人おり、係員が対応中でした。ガラス扉の中には1組しか入れないようで、私たちがガラス扉を開けようとした時、中にいた若い

エジプト人が外で並ぶようジェスチャーをしてきました。私たちはガラス扉の前で待つことにしましたが、すでに5、6人、壁際の椅子に座っている中東系の人たちがいました。彼らが切符を買うために並んでいるのかどうか全く分かりませんでした。とりあえず私たちは立って呼ばれるのを待つことにしました。

窓口にいるヨーロッパ系の外国人は、係員に何か相談しているらしく、その1人の対応が終わるまで30分くらい時間が掛かりました。次に椅子に座っていた中東系の人たちが順番に呼ばれ、その間にエジプトの旅行会社の人なのか、よく分からない男の人が怒鳴りながら何人か窓口に割り込み、また途中で現れたヨーロッパ系の別の外国人が私たちより先に呼ばれるなど（おそらく私たちより先に来て、座るところもないので、どこかで暇を潰していたのかも）、いつ呼ばれるのか分からない状況にひたすら耐えながら、待つしかないという感じでした。結局、私たちが窓口と呼ばれたのは、並び始めて1時間ほど経ってからでした。

日本であれば、インターネットや駅の券売機など、列車の切符を購入する手段は窓口以外にもありますが、エジプトで外国人が切符を購入するには、今のところこの外国人専用窓口しか選択肢がない、という点が、非常にハードルが高いと感じました。

ついに Talgo の切符を購入

事前に Talgo の1等車のシート構成が1列+2列であることを調べていたため（アレキサンドリア行きの Talgo の情報を参考にしました）、窓口の係員に「乗車日」と「行先」、「Talgo」、「1等車」、「ソロシート」、と自分の希望を紙に書いて渡しました。係員はすぐに分かってくれ、コンピューターで空きを確認してくれました。係員は非常に丁寧な人で、切符の代わりになる領収書のような紙（図2左）に、出発日と出発時間、行先、列車の番号、指定席の車両番号と座席番号、領収金額などを手書きで書き、更に英語で簡単に書いたメモ（図2右）を付けてくれ、渡してくれました。

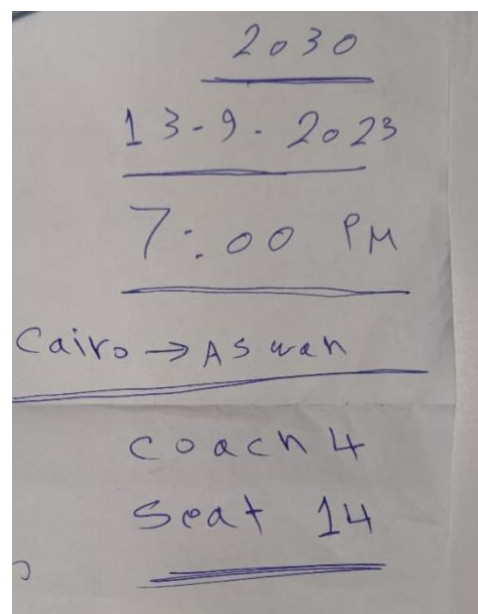
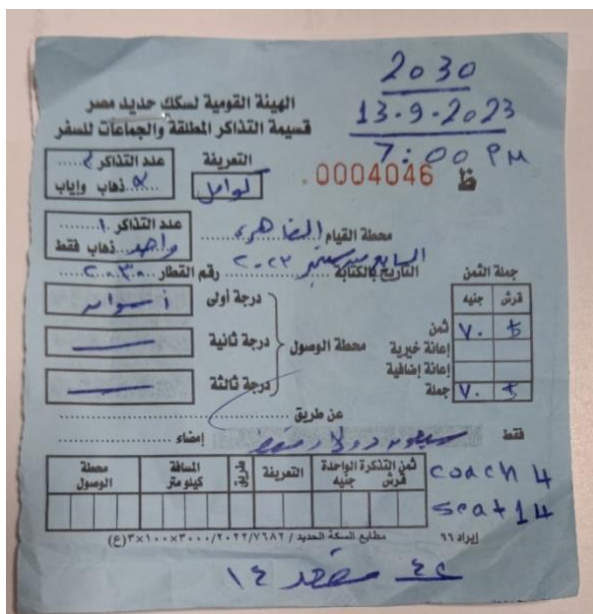


図2右：料金と日付や座席情報が書かれた紙、左：英語の説明書き

今回、カイロからアスワンまでの Talgo の 1 等車の運賃は 70 ドルでした。今年の 1 月から外国人の運賃はアメリカドルで設定されたのですが⁴、窓口ではアメリカドルかエジプトポンドのどちらで支払うか聞かれました。現金のみ支払い可能だったため、アメリカドルで支払いをしたのですが、エジプトでは紙幣の印字が薄いものや、破れや折れなどがあるものは受け取ってもらえないことが多く、今回も 20 ドル札が 1 枚戻されました。とりあえず手持ちのドルの中できれいな紙幣を選んで渡しましたが、こういった紙幣に関するトラブルはドルだけでなく、エジプトポンドの場合も同じだそうです。ちょうどラムセス中央駅に来る前、日本円からエジプトポンドに両替するために S さんと一緒にカイロ市内の両替所に行ったのですが、「受け取った紙幣が破れていたり、書き込みがないか確認したほうがいい」と S さんから言われ、私はその場で簡単にチェックしただけだったのですが、後で、「偽造防止のため、エジプトではきれいな紙幣以外は店などで使えないことがある」と聞いて驚きました。そんなルールがあることを知らなかったことでもあります。エジプトで流通している紙幣（お釣りでもらう分）がいつもきれいな状態で私のところに来るとは思えなかったため、エジプトの見えないルールに一層、びっくりしました。

とりあえずアスワンまでの Talgo の切符が無事に購入できました。今回は S さんがいてくれたから色々な問題にも対応できましたが、私 1 人だともっと時間が掛かったのではないかと思います。次は 6 日後の夜 7 時出発に間に合うように 1 人でラムセス中央駅に来なければ。

タクシーでラムセス中央駅へ

乗車当日、コシヤリの名店アブターレク近くからタクシーを拾い、ラムセス中央駅に向かいました。10 分程度で到着できる距離（3 キロ弱）だったため、事前にタクシー代は「35 ポンド程度（1 エジプトポンドは 4.8 円くらい）」と S さんから聞いていたのですが、やはりエジプト、観光客には高く請求してきます。私が降りる時もタクシーの運転手が「50 ポンド」と言ってきたため、一応、「高過ぎる」と文句を言ったのですが、すでに列車の出発時間まで 30 分を切っていたため、「料金は高すぎると思うが、あなたは良い人だと思うから、50 ポンドを支払いますよ」と言って 50 ポンドを渡しました。ここで「ショ克蘭（ありがとう）」と言って立ち去れば良いのですが、やはりそこはエジプト人、「チップはもらえないのか？」と言ってきたため、さすがに私もちょっとキレ気味に「The tip is included!」と言い放ち、タクシーのドアを閉めました。本当はタクシーを降りてから料金を窓越しに払うのが良いそうなのですが、私はそういったやり方に慣れていないため、毎回、車内で支払っていました。それにしても、毎回、タクシーではこういったやり取りをしなければならず、本当に疲れます。昔はメーター付きタクシーがあったようですが、最近は料金を交渉するほうが主流のようです。こういったやり取りを避けるため、都市部では Uber や DiDi といった配車アプリを使ってタクシーを呼ぶ、ということが外国人に人気ようです。私もカイロ空港へ向かう時に、DiDi を使ってタクシーを呼んでみたのですが、確かにスムーズに移動でき、料金も安かったです。ただ、配車アプリを使う際は、トラブルを避けるため、支払いの設定は現金払いにしたほうが良いです（予約をキャンセルされることも多いため）。

親切なツーリストポリス

やっとラムセス中央駅に到着、と思ったら、なぜかラムセス中央駅の正面入口ではなく、線路を挟んで駅の反対側の建物の前でタクシーを降ろされていました。とりあえず建物の中に入り、エックス線検査の係員に列車の支払い済の紙を見せ、Talگو に乗りたいと伝えたとこ、この建物のホームではなく、線路の向こう側のホームに行くよう言われました。やはりラムセス中央駅の正面入口から入るべきだったようで、タクシー運転手にやられた、と思いました。ただ、このことを後日 S さんに伝えたとこ、通常、ルクソール方面行きの列車はタクシーが止まった側の建物のホームから出るそうで、Talگو は少し特殊な列車なので運転手が知らなかったのでは、とのことでした。

出発時間まで 20 分くらいしかないので、急いで地下の連絡通路を通り、言われたホームで Talگو の表示を探していると、ツーリストポリスに呼び止められました。先ほどと同じように列車の支払い済の紙を見せ、Talگو に乗りたいと伝えたとこ、このホームから Talگو が出発するが、まだ時間が少し早いので、この辺りのベンチで座って待つよう言われました。ただ、Talگو の乗車時間は約 12 時間と長いので、ホームの売店でパンと飲み物などを買いたいと伝えると、ツーリストポリスが売店までついてきて、買い物を手伝ってくれました。パンを選んでいると、ツーリストポリスがチョコレートクリームの入ったパンを指し、「チョコのパンもあるよ」みたいにジェスチャーをしてきたので、クリームパンの他にそのお勧めのチョコパンを購入することに。暑いエジプトでは炭酸飲料のコーラやペプシが何故か飲みたくなるため、今回はペプシとペットボトルの水も購入。そうこうしているうちに Talگو がホームに到着し、ツーリストポリスが私の乗る車両の座席まで案内してくれました。1 等車にはその車両付きの係員がいるらしく、ツーリストポリスが係員に何か伝え、私に手を振って車両からホームへ戻って行きました。Talگو に乗る前日まで私はエジプトで色々な遺跡の見学をしていたのですが、遺跡にいるツーリストポリスは墓の番人たちと同じようにチップを要求してくる人たちだったため、ラムセス中央駅の親切なツーリストポリスにちょっと驚きました。こういう人ばかりだと良いのですが。

Talگو に乗車

予定通り夜 7 時ちょうどに Talگو がアスワンへ向けて出発しました。アスワン到着は翌日の朝 6 時 40 分の予定です。約 12 時間とカタール航空の羽田～ドーハと同じくらい長時間乗ることになりますが、Talگو は新型車両というだけあって、座席も窓も本当にきれいでした。飛行機のように座席に液晶モニターが装備されているのですが (図 3)、コンテンツはエジプトの音楽が 2 つほど登録されているだけで、ドラマ等のカテゴリーは選べませんが、何も登録されていません (今後に期待です)。座席シートにはコンセントが 2 つあり、スマホ等の充電もできます。それぞれの座席にはフットレストが装備されていますが、高さの調整ができないため快適ではありません (自分の荷物を下に置いて調整するしかない)。また、座席と座席の間の通路に大きなモニターがあり、エジプトの地図と現在地が表示されていました (図 4)。

私の周りにはエジプト人と思われる人たちばかりで、外国人はおそらく 1 人もいなかったように思います。座席は 6 割程度埋まっていた。私の通路を挟んで隣の 2 人掛けの席には年配の女性とその娘さんと思われる人たちが座っていました。私の前後の席は男性で

した。エジプトはイスラーム国家のため、女性と男性の座席に関しても何らかの制限があるのではないかと考えていたのですが（別々の車両か、車両の前後でゾーン分けするなど）、違っていたようです。通路を挟んで隣の席は女性でしたので、このあたりは日本の夜行バスなどと同じように、隣は同性が座るように配慮されているのかもしれませんが。



図3 Talgo の車内（飛行機の座席のような感じです。）

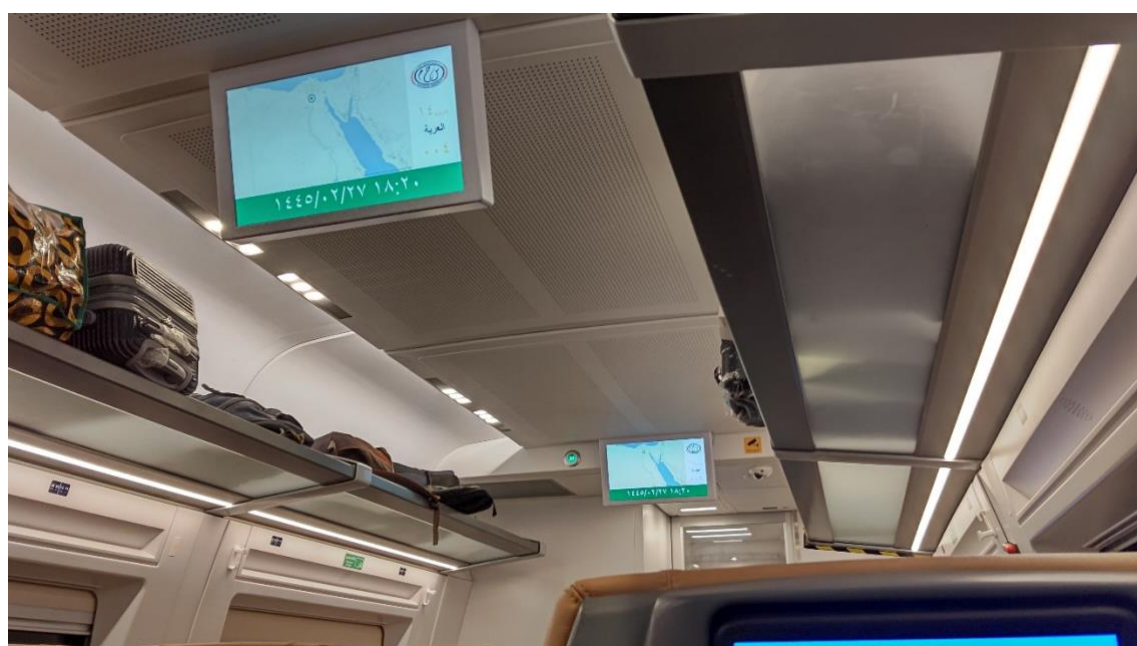


図4 Talgo の車内（通路上にモニターが設置。頭上の荷物置き場も充実。）

Talgo での食事

事前に調べた情報では、カイロ～アレキサンドリアで日中運行している Talgo は車内販売があり、お弁当を買うことができるようでしたが、アスワン行きの Talgo で車内販売があるのか分かりませんでした。何も買えなかった場合に備えて、駅の売店でパンと飲み物を購入したのですが、列車がカイロを出発し、40 分くらいしてから車内でお弁当の注文を取りに来ました。メニュー表などは何もなく、口頭でいくつかのメニューを言ってきたのですが、「困った時はチキンにしておけば間違いない」と思い、チキン弁当を注文しました。お弁当を持ってくる時間を指定できるようでしたが、とりあえずすぐ持ってきていただくようお願いしたところ、10 分ほどで席にお弁当が届きました (図 5)。



図 5 Talgo の車内販売で購入したチキン弁当

見た感じはとても美味しそうなお弁当でしたが、実際に食べてみると、串に刺さったチキンが喉を通らないくらいパサパサでびっくりしました。別添えでエジプトのトルシー（ピクルスみたいな漬物）があり (図 5 の左上)、これと一緒にパサパサのチキンも何とか食べることができました。チキンの下のフライドポテトは問題ありません (普通のフライドポテトです)。サフランライスなのかターメリックライスなのか分かりませんが、ご飯も美味しかったです。エジプトではご飯にパンが付いてくるのが良くありますが (エジプトに限らないかもしれません)、今回もライスがあるのにパンが 2 つ付いてきました。あとは定番のペプシ缶とペットボトルの水、パイ生地の中にナツメヤシが入ったデザートがお弁当に付いてきました。コーヒーや紅茶は車内販売のワゴンサービスで買うことになるのですが、私はタイミングが合わず購入できませんでした (夜 10 時頃まで何度かやってきました)。このチキン弁当の値段は 155 ポンド (750 円くらい) です。最初に値段を聞かずに購入したのですが、食べ終わって 1 時間くらいしてから、お弁当の回収係がやってきて、トレイを下げる際に集金していきました。夕食はお弁当の販売があったの

で、朝食の販売があるのではないかと期待したのですが、朝食はありませんでした（車内販売のワゴンサービスもなし）。ちょっと残念でしたが、私はチキン弁当に付いてきたパン2つと、ラムセス中央駅の売店で買ったパンがあったので、朝食に不自由しませんでした（もちろん全部食べ切れず、昼食にしました）。

Talgo での過ごし方

カイロからアスワンまで約 12 時間も列車に乗ることになるため、車内で何をして過ごすのか？と思われる方もいらっしゃると思います。私の周りのエジプト人たちは、引切り無しにスマホで電話をしていました。エジプト人のスマホの着信音は大きくて、かなりうるさいのですが、それが何度も鳴り、そのたびに大声で話をして盛り上がっている感じでした（男女とも）。会話の内容は全く分かりませんが、みんなよくしゃべるなあ、というくらい、ずっと話をしているので、私は耳栓をしながら、手持ちの本を読んでいました。

カイロからアスワンまで、主要な町の駅（ミニヤ、アシュート、ソハーグ、ケナ、ルクソールなど）に停車するのですが、車内アナウンスなどは入らず、私たちの車両の係員が停車の少し前に小さな声で駅名をつぶやきながら通り過ぎるという感じです。夜行列車ですが、途中の駅で降りる人や乗ってくる人がいるため、車内はずっと明かりがついている状態でした。さすがに夜 11 時を過ぎると、おしゃべりなエジプト人も静かになり、寝ている人もチラホラ見えます。車内はクーラーが効いているため、長袖を着ていても少し寒いくらいでしたが、準備が良い人はブランケットを持参していました。エジプトで長時間、乗り物に乗る場合は、上着やブランケットなどがあると便利かもしれません。

Talgo は朝 6 時 40 分にアスワンに到着する予定ですので、到着後、すぐに活動できるよう列車の中で十分睡眠を取ることが重要になります。ただ、やはり座席タイプでは飛行機と同じように短い睡眠を何度も繰り返すことになり、ゆっくり休めません。その点、寝台列車だと横になれるので、新型車両の Talgo にするか、古くて評判の悪い寝台列車にするのか悩ましいところです。もしエジプトの寝台列車に新しい車両が導入されたら、毎回、寝台列車で移動したいと思います。

Talgo で少しでも眠るため、今回はネックピローを日本から持参しました。本当は小さくたためるタイプが良かったのですが、私が持参したのは、魔法のビーズソファで有名な「ヨギボー (Yogibo)」のネックピローです（図 6）。使わない時は本当に邪魔に感じるのですが、飛行機や Talgo のような座席タイプの列車に長時間乗る時は、とても便利です。厚みがあるため、首回りが少し暑く感じるがありますが、車内の空調が効いているところでは、その温かさがちょうど良いように思います。ヨギボーのネックピローは 2 種類あるのですが、私はアイマスクが内蔵されているタイプを購入しました。左側の枕のところにチャックがついており、必要に応じてそこからアイマスクを出したり収納したりできるのでお勧めです。



図 6 ヨギボーのネックピロー

ネックピローで睡眠時間を確保することができる、と思っていたのですが、私の睡眠を妨害する強敵が現れました。通路を挟んで隣の席にいた親子らしき女性たちのうち、娘さんのほうがどこかにいなくなり、途中から年配の女性だけが座っていたのですが、その年配の女性が座席を2つ使い、ベッドのように寝転がりながら、大きなイビキで寝ていました。近くの男性たちは静かに寝ているため、その女性のイビキだけが車内に響き、私も耳栓をしていましたが、座席の位置が近いため、耳栓をしていてもイビキが気になる感じでした。結局、その年配の女性はアスワンに到着する30分ほど前までずっと寝ていたので、きっと十分睡眠が取れたのではないかと思います。お陰で私は睡眠不足でした（おそらく周りの男性たちも）。

Talgo の設備

紹介するのが遅くなりましたが、長距離移動で一番重要な設備は、トイレだと思います。エジプトはホテルや空港、博物館など一部の施設を除くと、トイレ事情が悪いのですが、その点、Talgo は新型車両ということもあり、全ての機材が新しく、運行中も車両専用の係員が定期的に車内のゴミを集めたり、トイレの清掃や紙の補充をしているため、ストレスなくトイレを使用することができます。Talgo のトイレは飛行機のトイレと同じような作りですので、広くはありませんが、十分だと思います（図7）。利用をためらうくらい汚いトイレと噂される寝台列車と比べると、やはりアスワンまでの長距離移動は、現状では Talgo しか考えられないかもしれません。



図7 Talgo のトイレ（便座のフタが黄色でかわいい。洗面台が銀色に光っている。）

おわりに

今回は今年の3月末にカイロからアスワンまでの運行を開始したスペインの新型車両 Talgo について、切符の購入から乗車中の出来事など、私を感じたことを色々書かせていただきました。真面目な研究論文と一緒に、このようなエッセイをアラブ調査室のホームページに載せるのは少々心苦しいですが、エジプトの鉄道に関して参考になる情報が少ない状況を考えて、私の体験も少しは役立つのではないかと、思っています。

本文に書き忘れましたが、Talgo のアスワン到着は翌朝6時45分でした。予定が6時40分到着でしたので、ほぼ定刻通りです。エジプトでは1時間くらい列車が遅れるのは当たり前と言われていまして（寝台列車も遅れます）、ほとんど奇跡に近いと思います。Talgo で残念だったのは、日の出の関係で、朝は6時過ぎからしか外の景色が見れなかったことでしょうか。せっかくナイル川に沿って列車が走っていたのに景色が楽しめなくて残念です。寝台列車だとアスワンへの到着がもう少し遅いのですが、窓が汚くて外が見えないという噂がありますので、やはり Talgo のほうが良いのかもしれません。早く寝台列車に新型車両が導入されると良いのですが。

もう1つ追加で説明をしないとイケないのですが、ラムセス中央駅の外国人専用窓口はエジプト以外の国籍の人が利用する窓口となっており、中東諸国の人たちもここで切符を購入します。利用者に中東諸国の人が多いからなのか、「Foreigners Reservation Office」という文字以外の説明（値段等も含め）は全てアラビア語で表記されていました。

尚、Talgo の切符購入に関しては、エジプトの旅行会社で代行してくれる可能性があります。尚、その辺はご自身でご確認をお願いいたします。

¹ Egypt Independent, August 22, 2023. “Egyptian National Railways launches online service for ticket reservation”, <https://egyptindependent.com/egyptian-national-railways-launches-online-service-for-ticket-reservation/>

² Ahram Online, Aya Gamal, Tuesday 28 Mar 2023. “Egypt’s 4th high-speed Talgo train to run Cairo-to-Aswan daily from Wednesday”, <https://english.ahram.org.eg/News/492590.aspx>

³ 私が参考にしたウェブサイトは“The Man in Seat 61: A beginner's guide to Train travel in Egypt”です。このサイトは基本的な切符の買い方や、エジプトの列車についての情報が多く乗っています。ただ残念ながら Talgo に関しては、先に運行サービスがスタートしたカイロ～アレキサンドリア間の情報がほとんどで、車両情報以外、あまり参考になりませんでした。 <https://www.seat61.com/Egypt.htm>

⁴ Ahram Online, Monday 2 Jan 2023. “Egypt sets train ticket prices in USD for foreigners”, <https://english.ahram.org.eg/NewsContent/1/1238/483565/Egypt/Tourism/Egypt-sets-train-ticket-prices-in-USD-for-foreigners.aspx>